

# CJM REPORTER

カナディアン ジャパニーズ ミニストリー (CJM) 2020年春号

## サニーサイドキャンプ

2020年7月26日ー8月1日

サニーサイド・クリスチャン・リトリート・センター  
202 Birchcliff Road, Sylvan Lake, AB  
(16 km. West of Red Deer, AB)

お問い合わせは [nob.and.marie@shaw.ca](mailto:nob.and.marie@shaw.ca) まで。

キャンプの準備は通常通り行われています。  
変更があり次第お知らせいたします。

## 北東日系 クリスチャン 修養会 2020

北東日系クリスチャン修養会の実行委員会では、昨年の秋以降、以下の3点について話し合ってきました。

- (1) 5月の交わりを目的としたピクニック
- (2) 秋の一日聖会、
- (3) 北東日系クリスチャン修養会のビジョンの再考

現在の新型コロナウイルスが流行しているさなか、計画通り5月16日(土)にストーフビルでピクニックを行えるかどうかわからない状況にあります。

予定が決まりましたら、ウェブサイトにてお知らせいたします。  
<https://sites.google.com/view/nencc/>

## 私たちは何に確信を持てるのか？

ノリ・カナシロ CJMディレクター

電話、Eメール、または書かれた出版物を通じて、日々お互いに会話やコミュニケーションをする中で、この前例のないCOVID-19の状況を表現する際、「これらの不確実な時代に・・・」というフレーズを見たり聞いたりすることが多くなりました。私自身、友人に書いたり話したりする時にこのフレーズを何度も使いました。

皆さんもご存知のように、COVID-19パンデミックが世界経済や生活全般を中断させている現状について、あるインターネット上の最近の記事を読んだ時、著者が「不確実」という言葉を何度も使っていました。次に何が起こるのかに関して「確実」なものには存在しないことは、誰もが心のどこかではわかっています。次の瞬間に、何が起こるかを確実に予測することなどできないことを知っただけで、私たちは、まるで世界を全てコントロールできているかのように振る舞います。私たちの世界を混乱へと陥れるのに、ほんの少しのウイルスで事足りました。ある別の作家は、「私たちはミサイルが飛んでくるのを恐れるのではなく、誰かのくしゃみの恐怖の中に生きています」。人には、自分がどれほど脆弱で弱く限りある存在であるかを真に理解することは可能なのでしょうか。難しいかも知れませんが、何人かは理解するでしょう。この危機の中で、神に目を向ける人々のことを聞いています。そして間違いなく、更に多くの人々がそれに従うでしょう。私たちの創造主である神は、彼の調和と祝福を約束して、生活のあらゆる面において神に頼るものとして人を造りました。聖書には、「わたしの名を呼び求めているわたしの民がみずからへりくだり、祈りをささげ、わたしの顔を慕い求め、その悪い道から立ち返るなら、わたしが親しく天から聞いて、彼らの罪を赦し、彼らの地をいやそう。」(歴代誌第二7章14節)とあります。しかし、人間は神を無視し、自分たちが決めた道を選ぶことを選び、それが今私たちが目にしている混乱や荒廃をもたらしました。

このような状況の中で、聖書は以下のように私たちに励まします。「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。私があるあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。」(イザヤ書41章10節)  
神の臨在と約束の確実性にしっかりと立ちましょ。

The CJM REPORTER is published semi-annually by the Canadian Japanese Ministries. News items, reports, testimonies and notices of events are welcomed by the editors. Next publication, October 15, 2020. Published in Toronto, ON

EDITORS:

Nori Kanashiro 56 Wakefield Cres., Toronto, ON M1W 2C2 Tel: 416-321-5831 Email: nbkan11@gmail.com

JAPANESE TRANSLATION: Miki Nakano, Yumi Ijichi, Minako Ebisuzaki & Masako Tanaka

YOUTH IN ACTION Editor: Marie Fuki Email: marie.fuki@yahoo.com;

CJM Website: www.CJMin.com

## カルガリー日系人福音教会

2203-15A St. S.E., Calgary, AB  
 日曜礼拝：午前10時より  
 牧師：堀内友幸（日語）  
 電話：587-434-1783  
 tomhoriguchi@hotmail.com  
 www.calgaryjapanese gospel.com



### 堀内友幸牧師

カルガリー日系人福音教会の2020年のビジョンである標語は「この奥義とは、あなたがたの中におられるキリスト、栄光の望みのことです」(コロサイ人への手紙1章27節)。隠された奥義である内住のキリストの栄光が教会員の一人一人の中に地域の中に輝かされることをビジョンとして掲げました。現在世界的に恐怖を与えているコロナウィルスのパンデミック（世界各地に同時に脅威を与えている感染警報）がなされて、教会は緊急会議を開いて

3月15日(日)から各ご家庭で礼拝を持つことに決めました。3月22日(日)からは英語部・日語部の礼拝メッセージをオンラインで放送することになりました。

今年の6月19日から21日まで米沢興譲教会の高野昭牧師をお迎えしてWeekend Retreatを持つ予定でしたが、延期になり、様子を見てもし出来れば9月か10月にと願っています。2000年前にガリラヤ湖で弟子達に死の恐怖を与えた暴風と嵐に「イエスは起き上がり、風をしっかりとつけ、湖に『黙れ、静まれ』と言われた。すると風はやみ、大なぎになった」(マルコ4:39)ように、全能者であり、全天全地をご支配されておられる主イエスの御名による権威を持って、コロナウィルスを叱り、「コロナウィルスの感染よ止まれ！速やかに患者に癒しを与え給え！」と主イエスの権威と全能者であり、天地を支配しおられる主イエスの御名によって祈の手を挙げましょう。\*

## 「神様は自分のためにいる」 小笠原 智仁

私は、カナダに2005年1月に来て、プロビデンスカレッジで一年半英語と聖書について学びました。そしてその後ウィニペグで働き始めました。そのとき以来現在まで、約14年Winnipeg Japanese Alliance Churchにお世話になっています。この教会は1966年に松原先生によって開かれました。日本のクリスチャン人口は少なく、またマニトバ州にも日本人及び日系人の方はそう多くは居られません。それにもかかわらず神様は信徒を守り、この小さな教会を導いて下さっていることを覚え、感謝し、そしてこの教会が成長し、もっと多くの日本人の方が救われることを願って止みません。私は、20代の前半から教会に時々顔を出していましたが、基本的にノンクリスチャンの家庭に育った私は教会の 一つ一つのことが新しく、と同時に異質に見え、なかなか求道者から先へは行けませんでした。聖書をあまり読まず、牧師さんからの勉強への招きも断り続け、教会にも定期的に通わず、頑固な自分を守り続けながらも心の安らぎや人生の意味を模索し続けました。そんな状態が10年以上も続き、教会からもかなり足が遠のきました。

しかし、そのころ人生の色々な問題にぶつかり真剣に神様のことを考える機会を与えられました。神様に向き合い、尋ね求める中で神様に対する誤解があることに気づき、自分の高慢さを認識するようになりました。つまり、「神様は自分のためにいる」ように思っていたのです。自分の欲望を満たす為に神様を利用している愚かな自己中心性をやっと悟り、イエス様を救い主として信じる決意をしました。



小笠原 智仁

今も様々な困難に遭ったときに祈り、その後その祈りがいかに聞かれたかが分かる時、神様の慈悲深さを驚きをもって知ることが多々あります。「自分は神様のためにいる」ということをいつも心に留めたいと思います。\*

## メノナイト日本語キリスト集会

12246-100th Ave., Surrey, BC V3V 2X1  
 (Living Hope Christian Fellowshipにて)  
 日曜礼拝：午後3時より  
 牧師：ジェラルド・ニューフェルド  
 電話：604-596-7928  
 Eメール：gmeunfeld5@yahoo.ca



### 多田美和子

主の御名を讃美いたします  
 コロナウィルスの騒動の中、皆さまいかがお過ごしでしょうか。私たちのメノナイト教会は人数は少ないのですが、1人1人が神様に信頼することを学ばされています。神様が教会を祝福してくださっていることは感謝です。昨年の一年を振り返っても、本当に色々

な行事で忙しく満たされ、改めて教会が神様を礼拝し、賛美し、お互いの交わりを強められました。これから先も神の愛を一人一人が感じて、周りの人々と分かち合っていけたら良いなと思われています。

私事になりますけれど、主人が高齢で急に身体の不調を訴えました。仕事もどうするか、持っている物を売るのか？人にあげるのか？大変心配しました。二人で祈ったところ、不思議と問題が解決して、今は元気に仕事ができるようになりました。神様は生きて働いておられる事を感謝します。

世界のそれぞれの教会が強くされて、災いに耐えることが出来ますようにと祈られます。バンクーバーの冬、長い雨がやっと終わり桜も咲くようになりました。私たちも春のように元気一杯太陽をあびて過ごしたいと思えます。\*



## ビクトリア日系人教会

877 North Park St., Victoria, BC  
 (First Baptist Church にて)  
 日曜礼拝: 午後1時30分より  
 石黒豊牧師  
 ymishiguro@shaw.ca 778-265-6092  
 Website: www.vicjapanesechurch.com



### 石黒 豊牧師

素晴らしい主の御名を賛美致します。  
 主ご自身が豊かにこの2020年の今日までビクトリア日系人教会を愛され、導いて下さり、主にある幸いを与えて下さっている恵みを覚え感謝致します。2020年度の教会テーマ聖句は、【ホセア6章3節】『私たちは、知ろう。主を知ることを切に追い求めよう。主は暁の光のように、確かに現れ、大雨のように、私たちのところに来、後の雨のように、地を潤される。』この聖句を

主は私達に、神様の事を、イエス様の事を、聖霊様の事をもっともっと知って欲しいと望んでおられます。知れば知るほど、必ず朝日が上がり心を温めてくれる様に、また恵みの雨が降り注がれ、それは豊かな実りの時を与えようとしておられると言う約束をもう一度知らせて下さいました。ハレルヤ！感謝です。

2020年新年礼拝の時に、幾人かの女性の方々が、主が与えて下さった新しい年に感謝し、着物を着て、来て下さいました。教会の中に日本的な情緒が溢れ、まるで日本にいるかのような暖かさに包まれ新年礼拝をする事が出来ました。また3月初めに教会にとって嬉しい感謝する事がありました。それは1組のご夫婦を教会員としてお迎え出来た事です。素晴らしい賜物を主から頂いておられる方々です。私達にとって大きな喜びでした。また共に喜んで頂きたい事がもう一つあります。4月12日イースター礼拝の時に洗礼式を行う事を予定しています。その上に豊かな主の守りと、導きがあります様にお祈りして頂けたらと思います。全カナダにあります教会がCJMの働きを通して、共に主の恵みに感謝しつつ、励まし合う事が出来ます様にお祈りしています。\*

## エドモントン日系キリスト教会

9802—76th Ave. NW, Edmonton, AB T6E 1K5  
 (Zion Baptist Community Church にて)  
 日曜礼拝: 午後2時より(バイリンガル)  
 牧師: 田村寿宏 電話: 587-986-8161  
 Eメール: tamuratoshihiro1981@gmail.com  
 教会HP: www.ejcc.ca



### 田村寿宏牧師

主にある兄弟姉妹の皆様へ、主の御名を賛美します。  
 EJCCでは昨年に引き続き将来のビジョンを主題テーマとしつつ、今年は「安息」について聖書から学び実践してゆく一年にしたいと計画しています。主は安息の日を創造の初めからお定めになりました。それは私たちが神様との健全な関係を維持し、また建て上げてゆくために必要不可欠な時間です。一人一人が神様とより健全な関係を築いてゆく中で、御声に耳を傾け、そのビジョンを分かち合っていくことができるよう皆様のお祈りにも覚えて頂けたら幸いです。

またそのために私たちの教会では9月初旬に二泊三日の修養会を計画しています。主の安息について学ぶと同時に、日常から少し離れた所に身を置くことによって、主の安息をより深く、豊かに体験することができればと祈りつつ準備を進めています。

また二月に年次総会が行われ、長年、役員議長を務めてくださった中尾墨兄が辞任することになりました。長い間、代表役員として忠実に主と教会に仕えてくださった労を心より感謝します。主がその働きを労い、安息とリフレッシュの時を豊かに備えてくださいますよう教会員一同心よりお祈りしています。尚、現在後継の代表委役員はまだ決定しておりませんが、常に主イエスを教会のかしらとして、互いに愛し合い、支え合い、歩んで参りたいと願っています。

後継の代表役員についても、主がその御心にしがたって最善を導いてくださいますようお願い頂けたら感謝です。今年も主の豊かな恵みと祝福が愛する兄弟姉妹の皆様の上にありますように。\*

## ウィニペグ日系アライアンス教会

549 Gertrude Ave. W., Winnipeg, MB R2L 0M9  
 (Trinity Baptist Church にて)  
 日曜礼拝: 午後2時より  
 winipegjapanesechurch@gmail.com  
 www.wjac.weebly.com



### 小笠原都子

年が明けて2020年、1月の終わりに例年通り新年会の時を持ちました。今年の新年会は2019年の秋に結婚したブルース・ヤロー牧師とグラディス・ドリュエ姉のウィニペグでの披露宴を兼ねており、いつも以上に賑やかな集まりとなりました。WJAC(ウィニペグ日系アライアンス教会)に長年通われているブルース師は公立学校の教師を退職後神学校で学んで牧師となり、メッセージの御用などを通して教会を支えてくださっています。グラディス姉はお母様が日本人で、アメリカの出身です。

グラディス姉がウィニペグに引っ越して来てすぐにブルース師が証しをしてくださいました。証しではお2人の出会いから結婚までの経緯、昨年秋に行われたコロラド州デンバーでの結婚式、その後のウィニペグへの引っ越しなど、それぞれの場面で神様がどのようにお二人に働いてくださったかを話してくださいました。お二人はカナダとアメリカの国際結婚ですので、手続きやビザの問題など大変なことも多いのですが、その都度神様が働いてくださり無事に乗り越えていらっやいます。特にカナダでの入国手続きの際は神様が采配してくださったとしか思えない方法で無事に手続きを終え、通常はもらうことが難しいと言われる、一番長い期間のビザをもらうことができたそうです。

披露宴を兼ねた新年会には教会のメンバーだけではなく、ブルース師の友人などが駆けつけてくださいました。食事の時間では、お寿司や和食は初めてという方もいらっやり、料理を説明したり箸の持ち方を教えるなど、楽しい交わりの時となりました。\*

## モントリオール日系キリスト教集会

Peoples Church 地下にて  
2097 Union Ave., Montreal, QC  
集会：毎月第3日曜午後2時より  
フェローシップ/イベント：毎月第1日曜  
吉野治代 514-342-8509  
montrealjapanesechristian@gmail.com  
Website: www.mjcf.ca



吉野治代

モントリオールから主のみ名を賛美いたします。私たちは今、新型コロナウイルスの影響で非常に不安定な生活を強いられっていますが、私達はあなたが未来を握っておられるのか知っているの、希望を持ち続けることができます！神が信頼できるお方だからです。わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている一主のことば。それはわざわざではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。(エレミヤ29:11)

主の忠実さと、私たちの集会に参加されている人々に感謝します。モントリオールJCFと一緒にリーダーシップを務めるサムソンさんと恭子さんには特に感謝しています。主に心から仕え、このミニストリーに献身してくだ

さっていることに敬意を示したいと思います。

私たちはバイブルスタディとフェローシップのために月に2回、集まっています。バイブルスタディでは、「イエスに出会った人たち」という聖書の学びを完了し、今年の1月から創世記の学びを始めました。私たちのグループの新たな発展についても、主に感謝しています。去年の9月からワーシップチームができました！ YouTubeのビデオを使って歌うのではなく、ライブで賛美が出来るようになりました。これは私たちにとても大きな励みです。感謝祭、クリスマス、新年と一緒に祝いました。これらのイベントには多くの来訪者があり、私たちは種を蒔いていることを祈ります。以前、宣教師として日本に長く住んでおられたエディー・ブキャナン先生と奥様のウェンディさんが私たちの集会に何度か参加して下さいました。ハレルヤ！エディ先生にはクリスマスのメッセージを語って下さいました。グループメンバーの中には、結婚、うつ病、又は家族メンバーの薬物乱用などの問題で大変な時期を経験しました。リーダーシップチームは常に主に知恵を求めることが必要ですが、これらの方々と一緒に歩み、サポートできることを嬉しく思います。COVID-19パンデミックのこの期間中、私たちは一緒に集会で会うことはできません。リーダーシップは、特に各メンバーと連絡を取り続けることで、ミニストリーを継続するための別の方法を模索しています(メンバーの多くは独身で家族がモントリオールにいません)。この状況が長期間、続かないことを祈りつつ、皆さまの上には神の豊かな祝福がありますように。\*

## ニューウエストミンスター福音自由教会

7895 Canada Way, Burnaby, BC  
日曜礼拝：午前9時30分より  
牧師：朴柱龍  
Eメール：aicimas0405@gmail.com  
www.nwefc.org



朴柱龍 牧師

日本の福音宣教のために私が求めている働きは御言葉の働きであります。乳と蜜の流れる約束の新しい天と地は御言葉によって成し遂げられる神の国であると信じているからです。この理由によって日本の福音宣教の希望は御言葉にあると確信しています。

この確信と信仰により私は福音自由教会の日本語部の牧師として2019年6月から牧会が始められました。神様に感謝します。そして、このものを牧師として受け入れてくださった福音自由教会の日本語部と英語部の皆さんに感謝しています。さらに感謝と恵みであると思っているのは、教会の一人一人が御言葉への情熱と信仰があるということです。

私が福音自由教会と関わり始めたのは5年前からです。その時から今まで毎回の礼拝で感謝していることは礼拝後の御言葉の勉強会があるということです。このような聖書勉強会という交わりは他の教会では今まで経験したことがない交わりでした。これだけでも福音自由教会は神様による希望に満ちていると信じます。そして、8月から本格的な聖書の学び会が毎週水曜日と金曜日(隔週)にスタートされました。聖書勉強会ではヘブライ語のアルファベット、釈義と解釈の方法などを用いて創世記から始めました。難しいこともありますが教会の一人一人が積極的に参加してくださいと何より感謝しています。私はヨハネ21章15「ヨハネの子シモン。あなたは、この人たち以上に、わたしを愛しますか。はい。主よ。私があなたを愛することは、あなたのご存じです。」イエスは彼に言われた。

「わたしの小羊を飼いなさい。」神の御言葉への暑い情熱のある福音自由教会の一人一人は御言葉をただもらって食べるだけにとどまらず自ら食べたま食べさせられる信仰によって神様に大きく用いられる教会になることを目指しています。それがイエス・キリストを愛することで隣人を愛する信仰の道であるからです。教会の成長と恵みを祈ります。続けて主とともに建てられていく教会として歩むことを祈ります。\*

## グレース日系クリスチャン教会

407 Cougar Street, Banff, AB  
(Banff Full Gospel Churchにて)  
日曜礼拝：午前9時より  
牧師：榎実  
403-707-6132  
Eメール：banffgjc.enoki@gmail.com



榎実牧師

愛するCJM諸教会の皆様 主の御名を賛美し讃えます。この度のCovid-19の影響を受けて、私たちの教会においても大きな決断と”変化”が求められる日々が続いています。諸教会におきましても迅速な対応と柔軟な決断が求められているかと思いますが、哀れみ豊かな主の導きと好意の故に、このような状況においても全ての諸教会が御言葉の土台の上に堅く建てられていることを信じ感謝致します。今回の事態を受けて、GJCCでは初めての試みとなるライブ中継での日曜礼拝を執り行いました。オンラインでの礼拝賛美、献金、そしてメッセージの配信ということで普段仕事の為、礼拝に来ることが出来ない方々や求道者の方々からも多数メールを頂き、多くの励ましと慰めを

共有することが出来ました。

このような逆境にあっても主の知恵と方策により新しい道が切り開かれ礼拝が継続して守れること、また、主への飢え渴きが信徒の方々の内から起こされている現実に主の御名をあがめます。

バンフにおいても多くの方々が仕事を失い、落胆と失意の中にありますが、インターネット礼拝を通じて確かに主の希望といのちが流れている現実を見させて頂いています。

今回の礼拝形式の変更に伴い、私たちの教会に流れているもう一つの恵みは各家々において礼拝が行われているということです。使徒の働きにも記されている初代教会とは900m毎(安息日の規定)の家の教会の姿であり、その各場所で信徒達が集い礼拝が守られていました。この時代において教会という建物が担う役割は大きいものがありますが、私個人が心から願う教会成長とは、各家庭においても霊的祭壇が再建され、社会の最小単位である家庭、家族(夫婦)から回復の御業が起こされることでもあります。今回のCovid-19により、主が不思議な形で家庭の霊的回復の業を推し進めていることを見させて頂いています。神を愛する人々には、全ての事柄がともに働いて益となることを、私たちは知っていますので(ローマ8:28)、このような社会情勢の中にあってもCJM諸教会におきましては揺るぎない希望と確信が与えられていることを感謝し主の御名を崇めます。\*



## クロスオーバー日本人教会

1313 Ranchlands Way NW, Calgary, AB  
(Westview Baptist Churchにて)  
日曜礼拝：午後2時より  
牧師：谷口洋一 電話：403-455-0074  
Eメール：ymtaniguchi@hotmail.com  
www.crossoverjapanesechurch.com



谷口洋一牧師

今年の春はコロナウィルスで、世界中が大変な状況にあります。そんな中、マルチン・ルーサー・キング牧師の暗殺される前夜のメッセージが思い起こされました。まるで自分の死を予感していたようなメッセージでした。神は、モーセにそうされたと同じように、キング牧師にも「約束の地」を見させてくださいました。キング牧師は最後にこう言いました。

「今夜、皆さんに知っていただきたいことは、私たちは、約束の地を受け継ぐ者だということです。私は今、幸せです。何も心配していません。誰も恐れてはいません。私のこの眼は、来られるべき主の栄光を見たのです」今教会は、礼拝、平日の活動においても、制限され、自宅隔離の状態です。そのような状況の中、私たちは自宅で、コロナウィルスのニュースを追い続け、不安と恐れに惑わされるのでしょうか。それとも、キング牧師のように、問題に眼をやるのではなく、たとえ自分の命が脅かされている状況の中にあっても、神への信仰、神が与えてくださる希望のほうに眼を向けているでしょうか。つまり、コロナウィルスのフォロアーなのか、神のフォロアーなのか、問われる大切な時に立たされています。

今回は、教会の活動報告はできませんが、教会の立ち位置、信仰者の立ち位置をしっかりと見極めるようにとのチャレンジを受けています。\*

## ニューライフ・クリスチャン・チャーチ

New Life Christian Churchにて  
480 Huntingwood Drive, Scarborough, ON M1W  
1G4  
日曜礼拝：午前10時30分より  
吉田エドワード牧師 416-261-4302



吉田エドワード牧師

もし、カナダ中の友達が、エド・吉田は引退後に何をしているのだろうと疑問に思っているのなら、それは誤った憶測です。引退したのではなく、御国の仕事に再び従事しているからです。もはやフリーメンジストの牧師ではなく、主に仕える CJM の働き手なのです。彼のルーツと CJM との繋がりは、切り離せないほどとても長く深いものです。トロントで最初のカンファレンスが行われて以来、彼は CJM の終身会員です。モジジニアセンターが建てられて 30 年以上が経過し、モジヘルスケアソサイエティーとイーボンファンデーションの間で協定が結ばれ、彼は月に一度その牧師の一人として仕えています。しかし、CJM との結びつきはもっと深いもので、1955 年にレスブリッジのビル・タマギ牧師に招待されて以来の会員です。1956 年にシアトルパシフィックカレッジを卒業すると、バンクーバーに教会を立て上げるよう任じられました。

当時、CJM はバンクーバーで活動していて、NCF(二世クリスチャンフェローシップ)と呼ばれていました。メンバーたちは、NCF と書かれたピンを誇らしげに着けていました。彼らは、最初のバンクーバー二世福音教会の創設メンバーになりました。思い出せる名前は、スタン・ヨコタ、アイリーン・ジョーンズ、スミ・マエハラ、エドナ・トレイラー、ジャン・イマヨシ、そして、後にウチダ姉妹のリーンとアン、スミ・モリザワ・キノシタが加わりました。少しの教師で日曜学校を始めた時、ソガ夫妻は、近所の子供たちを教会まで送ってくることを引き受けてくれました。西一家がグランドフォークスからバンクーバーの東端に引っ越した時、ミヨコ、チャーリーズとテレンスは、私たちの教会に通うようになりました。彼らの影響で、同じ町に住む岩崎家の姉妹が私たちの教会につながりました。1956 年に日本の聖書学校で英語を教えるように安藤牧師に招かれた時、非公式には、これらのメンバーがバンクーバー教会の中核となりました。今日のバンクーバー福音教会は、この駆け出しの集まりから始まりました。エド牧師は、隔週土曜日にモールのレストランで二世ブレイクファスト/バイブルセッションを行ったり、毎週日曜日に NLCC でギデオンフェローシップパイリナルバイブルディスカッションをしたりすることを通して、今もなおトロントの日系コミュニティに届いています。そのメンバーには、カナダで最初の日系市長(グランドフォークス、B.C.)の妹であるスミ・スギモトや、1950 年代にメイベル・シャープルズとキノシタ一家が東部で新しい仕事を共同で始める時に彼らをサポートしたタミー・ヤマザキがいます。\*

## バンクーバー日系福音教会

425-11th St., New Westminster, BC V3M 4G1  
日曜礼拝：午前11時/午後3時(日本語/英語)  
福迫徹也牧師(日本語部)  
604-521-7737  
Email: jpgospelchurch@gmail.com  
Website: www.japanesegospelchurch.com



福迫徹也牧師

今年の私たちの教会のテーマは「ビジョンに向かって歩む」で、年間聖句は箴言29:18となりました。

過去10年を振り返りますと、これらの中で主が実現してくださったものあれば、まだ実現途中にあるもの、ビジョンが変わったものなど、様々です。昨年1年間の平均礼拝人数は176名で10年前と比べると70人以上増えましたが、一昨年と比べると8名少なくなりました。活会員数はこの5、6年130名前前後で増減を繰り返し、あまり変化はありません。

過去10年間で87名が洗礼を受けましたが、半数以上の人たちは日本への帰国などで教会には残っていません。日本語を母国語とする人とそれ以外の人の比率は約7:3で、10年前とさほど変化はありません。10年前にたくさんいた子どもたちは、現在、Youth & Young Adult に成長し、ほとんどが教会につながっていて、神と教会を愛する青年たちに成長しており、主のみわざをほめたたえています。一方で、90歳以上の活会員は8名おり、シニアのサポートや伝道がこれからも大切な働きです。

今年はVISION2030を作成し、これからの10年の歩みを主に導かれていきたいと願っています。

この原稿を書いている今、COVID19がカナダ全国に拡大し、多くの地域で外出禁止令が出るようになり、私たちは突然、大変な時代を迎えてしまいました。

しかし、このような時に全知全能の主を信じ、主に祈ることが出来ること、主イエス・キリストによって救われていること、主の教会の属していることの祝福と恵みを感じています。

CJM諸教会の皆様の上に、主の守りと導きを心よりお祈り致します。\*